

補助金等適正化チェックシート

補助金等の名称		長久手市観光交流推進事業補助金				担当部課	くらし文化部観光商工課
---------	--	-----------------	--	--	--	------	-------------

基本情報	支出根拠		補助要綱	有	長久手市観光交流推進事業補助金交付要綱		
			根拠法令等	無			
	総合計画	基本目標	5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪-交流			会計区分	一般会計
		政策	5-2 観光交流まちづくりの推進			予算区分	6-1-2 観光費
		施策	5-2-1 観光交流スタイルの確立			中事業名	観光交流協会支援事業
	補助制度開始年度		平成17年度	制度終了(予定)年度	(未定)年度	細節名称	補助金
	交付先(団体名)又は対象者		(一社)長久手市観光交流協会			交付年数【※】	通算
	会員数【※】		正会員:59者、賛助会員62者		令和7年4月1日現在	会費【※】	正会員 10,000円/年 賛助会員 5,000円/年
	他団体への交付【※】		対象となる団体が1つしかないため不可能			制度の周知方法【※】	周知せず
	ガイドラインの適用		適用(予定)	令和4年度			
例外規定			3(4)エ(ア)…公益性が高く、事務局が不可欠で、市の補完的な業務を行う→最低限の団体運営費補助を認める				
最新年度の補助内容		補助対象経費	人件費、報償費、保険料、賃借・借上費、事務用品費、消耗品費、手数料、通信費、諸会費、保険料				
		補助対象事業費の総額	20,448,000円	補助金額	19,000,000円	事業全体の補助率	92.9%
		特記事項	・補助事業にかかる運営費(人件費、管理費等)のみ補助				

補助金等の目的・内容・効果	目的	(市民生活の維持・向上に資するものか) 長久手市観光交流協会の理念にのっとり、観光交流資源の開発や観光交流施設及び行事等の紹介、宣伝を行い、観光交流人口の増加を図り、もって市の活性化に資することを目的とする。				
	内容	(団体向け補助の場合は補助対象となる活動内容について、個人向け補助の場合は制度概要について記入) (一社)長久手市観光交流協会が本市の観光交流振興を図るために要する経費に対し、予算の範囲内において補助金を交付するもの				
	事業費補助の実績 (団体の主な活動の実績) ※今年度は予定	R4年度実績 (2022)	R5年度実績 (2023)	R6年度実績 (2024)	R7年度予定 (2025)	
		・地域ブランディング事業 →長久手御朱印・史跡コレクション、観光ガイド育成事業 ・お土産品開発事業 →外国人向けお土産品パッケージ開発及び観光PR動画作成 ・プロモーション事業 →WEBサイトリニューアル、SNS活用、観光PR冊子作成 ・観光案内所運営事業 →観光サポートセンター及びリニモテラス公益施設観光案内所運営 ・自主事業 →古戦場野外活動施設管理業務委託、観光雑誌等PR業務委託 ・人件費、事務費、倉庫・コピー機賃借料、総会等の会議実施他	・地域ブランディング事業 →長久手御朱印・史跡MAP、長久手楓まつり ・プロモーション事業 →WEBサイト改修、SNS活用等 ・観光案内所運営事業 →観光サポートセンター及びモリコロパーク西口休憩所観光案内所運営 ・自主事業 →古戦場野外活動施設管理業務委託、観光交流PR業務委託 ・人件費、事務費、倉庫・コピー機賃借料、総会等の会議実施他	・地域ブランディング事業 →長久手楓まつり、もののけの里開園1周年記念連携イベント(樹ジブリパークと連携) ・プロモーション事業 →HP上での観光商品バナー広告、SNS活用、ぐるっと長久手プチトリップマップ、リニモテラス連携事業(ながくて珈琲日和)、市内観光資源撮影 等 ・観光案内所運営事業 →観光交流サポートセンター ・自主事業 →観光交流会(会員間の交流促進)、セントレア第2ターミナルへのタペストリー掲出、雑入発行、リニモ長久手古戦場駅広告事業、いざいざオープン大作戦!(長久手古戦場記念館開館へのPRイベント)、体験プログラム造成・促進 ・人件費、事務費、倉庫・コピー機賃借料、総会等の会議実施他	・地域ブランディング事業 →長久手楓まつり、ジブリパーク連携イベント(樹ジブリパークと連携) ・プロモーション事業 →SNS活用、ぐるっと長久手プチトリップマップ、リニモテラス連携事業(ながくて珈琲日和)、市内観光資源撮影 等 ・観光案内所運営事業 →観光交流サポートセンター ・自主事業 →観光交流会(会員間の交流促進)、セントレア第2ターミナルへのタペストリー掲出、雑入発行、リニモ長久手古戦場駅広告事業、いざいざオープン大作戦!(長久手古戦場記念館開館へのPRイベント)、体験プログラム造成・促進 ・人件費、事務費、倉庫・コピー機賃借料、総会等の会議実施他	
		補助対象事業費	20,000,000円	20,000,000円	21,500,000円	20,448,000円
		補助金額	17,000,000円	20,000,000円	18,662,429円	予算額 19,000,000円
	財源	国及び県	3,477,000円	6,000,000円	1,500,000円	1,500,000円
		市(一般財源)	13,523,000円	14,000,000円	17,162,429円	17,500,000円
		その他				
	補助金等の効果 ※今年度は予定		観光交流情報発信事業数:16事業 地域ブランディング新規事業の実施件数:11件 ※ともにアクションプラン前期指標	観光交流情報発信事業数:17事業 地域ブランディング新規事業の実施件数:11件 ※ともにアクションプラン前期指標	市内観光客数:4,006千人 観光交流協会HP閲覧数:93,030回 ※ともにアクションプラン後期指標	市内観光客数:4,510千人 観光交流協会HP閲覧数:109,030回 ※ともにアクションプラン後期指標からの推移目標
今後の方向性・担当部署の自由意見		長久手市観光戦略を現在策定中であり、長久手市内へ来訪している観光客の属性等は把握できているため、今後は行政、協会、地域事業者の三者が役割分担をして各々が担うべきことを遂行して、地域の魅力向上を目指す観光事業を推進していく。				

確認の視点		チェック	左記のチェック内容とした理由	
公益性	補助事業（事業の内容）が、市の施策（総合計画）と整合性が図られているか	○	計画期間外であるものの、現在策定している長久手市観光戦略及び第二次観光交流基本計画との整合性を図りながら進められている。	
	効果が幅広く市民生活の維持・向上に不可欠なものか	○	特定の団体だけでなく、会員や市民が利益やサービスを受けている。	
	市民ニーズは認められるか	○	観光コンテンツ魅力度を向上させていくことは、観光客のみならず市に関係する人達＝市民への魅力度向上にも寄与するため、ニーズは高いと考える。	
有効性・妥当性	補助金額に見合った効果があがっているか	○	従来からの市内観光情報の発信に加えて、協会会員の増加や事業者の新たな観光コンテンツへの巻き込み(体験プログラム)等、新しい人材を取込む動きがあり、効果が上がっていると言える。	
	社会情勢の変化により補助効果が薄れていないか	○	ジブリパークの開園により、開園前よりも国内外の観光客が流入する状況である。域外からの観光消費を呼び込める状況となっているため、効果を高めていくために必要な事業と考える。	
	少額または申請件数の少ない補助金について継続していく必要があるか	○	補助団体が限定されている補助金であるが、団体が実施する事業は継続する必要があると考える。	
	直近3年間の成果（効果）状況が維持又は向上しているか	○	市内で増加している地域事業者を上手く取り込み、市内観光コンテンツの増加や組織強化を図るなど、成果向上に向けた取組みを行っている。	
	会計処理・実績報告が正確に行われているか【※】	○	会計は監査を受け、実績報告においても適正に処理されている	
	補助対象経費	公金で補助することが妥当か	○	市の観光施策の推進のためには、(一社)長久手市観光交流協会が実施する観光事業が不可欠であるため、妥当である。
		補助率や補助金額(補助対象経費や補助額の設定)は妥当か	○	補助対象経費について、本市が定める補助金ガイドラインの要件に即した事業費の組立がされているため、妥当である。
		経費の使途は明確か	○	事業計画に基づき実施されており、事業報告で適正に処理されている。
		基準を逸脱して補助していないか	○	適切に実施されている。
		運営費的な内容の補助により、補助対象が曖昧になっていないか【※】	○	事業計画で明確に運営費が区分されており、当該運営費を補助対象としているため、適切に運用している。
	補助金額を超える繰越金の発生はないか【※】	○	次年度当初に補助金が概算払にて支払われるまでの2ヶ月間に事務局運営費(人件費等)が必要となるが、補助金額を超える繰越金はない	
市の施策的課題の解決につながるものか	○	総合計画の5-2 観光交流まちづくりの推進に係る施策課題の解決につながる		
社会情勢、他の自治体の取組状況を踏まえて実施が適切か	○	本市への観光客対応及び観光PRIに対応する事業団体として、補助金実施は適切である		
補完性・公平性・透明性・他	市民や団体の自主的な行動支援に寄与するものか	○	団体の自主的な事業活動に対する補助金となっている。	
	委託や直接執行よりも補助金等による事業執行が適切か【※】	○	観光PRとして市が必要な事業費については市から同協会へ委託する手法に切り替えたが、運営面に関しては、本市の観光施策を補完する唯一の団体であるため、それに対する補助は適切である。	
	補助金を交付する目的が達成されたにもかかわらず、同一対象者に長期間にわたり補助金を支出していないか	×	補助金の対象団体が(一社)長久手市長久手市観光交流協会となっている。	
	補助対象者を限定するなど、交付先に偏りがなく(特権的な恩恵を与えていないか)	×	補助金の対象団体が(一社)長久手市長久手市観光交流協会となっている。	
	同様の活動を行っていれば、誰でも補助を受けられる機会が確保されているか【※】	×	補助金の対象団体が(一社)長久手市長久手市観光交流協会となっている。	
	補助金の概要、要綱等がホームページなどに掲載されているか	×	補助金の対象団体が(一社)長久手市長久手市観光交流協会となっているため、掲載していない	
	事業の実施状況(実情)の確認、監査等が適切に実施されているか【※】	○	観光交流協会で監査は適切に実施されている。	
補助事業に類似する事業がある場合に、統合の可能性を検討しているか	○	現状、類似する事業がない。		
総合評価	担当課の評価	評価理由、見直す場合はその内容		
	A	ジブリパークの開園により、即時的な成果等が求められる中、観光PRのための媒体の発行やSNS発信などを着実に実行するとともに、今後求められる観光コンテンツ(体験プログラム)の充実に向け、地域事業者の巻き込みにも取り組んでおり、地域の観光資源の成熟度を着実に高めている。		